

平成 16 年 6 月 9 日

連 絡 先
農水商工部水産室
室長 津田 平蔵
水産振興グループ
担当者 竹内
電話 059-224-2584

## 資料提供について

### 1 報告事項

コイヘルペスウイルス病でへい死したコイの発見（木津川）について（第2報）

### 2 要 旨

6月8日に資料提供した続報です。

6月4日に島ヶ原村の住民が淀川水系木津川で発見したコイのへい死魚2尾について、県水産研究部でコイヘルペスウイルス（KHV）検査を行い、そのうち1尾で6月8日に陽性反応を確認後、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所（玉城町）に確定診断を依頼していたところ、6月9日にKHV病によるへい死と確定しました。

### 3 報告内容

- (1) 6月4日に島ヶ原村の住民が阿山郡島ヶ原村の町区と川南区の境にある島ヶ原大橋下流約50mの木津川で2尾コイのへい死魚を発見した旨連絡が役場にあり、へい死魚2尾（マゴイ2尾）を県水産研究部でKHV病の検査を実施した結果、そのうち1尾（体重6.63Kg）が6月8日に陽性となりました。
- (2) 6月9日に独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所に確定診断を依頼していた結果が判明し、KHV病と診断されました。
- (3) また、感染経路については、今のところ不明です。
- (4) 本病はコイ特有の疾病で他の魚や人に感染することはないため、仮に感染したコイに人が触ったり、食べたりしても人体に影響はありません。

### 4 今後の対応方針について

まん延防止を図るため、三重県内水面漁場管理委員会と連携して、河川からのコイの持ち出し禁止や放流の制限等について検討します。